

階書大授令 講与和 堂式七 で 年三 卒 厳 粛 業月 人生十九 月十四日 執り 日 名) 行われた。 第二 が身延 + 七 山回 大卒業 五証





きます。 護者会を代表して祝辞を述べさせていた身延山大学第二十七回卒業式にあたり 林賢光会長よりお祝いの挨拶

だ保

身小

令和六年度

身延山

さて、卒業生の皆さん 上げます。そして理事長先生・学長先生・鼠にわたりお支えくださり誠に有り難くます。 また保護者・ご師範の皆様、物心業生の皆さん、御卒業誠におめでとうご) 戦にあり、 最に日向に ?へ一言激励の言葉を^がとうございました。 に支えてくださっ

はどうしても人の欠点人の長所を観たともい と言 うに て常 は 全ての人を仏 るかということでもあります。 人と接するか、自分自身が心身共にわれる所以は、人の間でどのようなといえる DNA かもしれませんが、色眼鏡で人を見てしまいます。所謂、 とも眼 わ 軽 は 菩薩 仏 さ 人の \mathcal{O} 人を見てしまいます。所謂の欠点短所が気になり、そともいえると思います。私仏身と観ました。咀嚼するの話があります。この不軽の話があります。この不軽いまの過去世の修行のお姿をまの過去世の修行のお姿をある。 謂そ私る 軽姿





と失ま の意見を伝えるということです。 す論。語 て耳 . る 善 クレンザー ず、他なので う中何 語 知識 に く、いざ意見を言う時他人の意見を尊重しられた人は、協調和今に「和して同ぜず」に があり 如く あります。

の二割の人は否定的、反
の二割の人は否定的、反
の二割の人は否定的、反
の二割の人は否定的、反 ぜず」とい う言 穏やかに自分 でも主体性を ラ言葉があり ロ分にと 反対派 でよう

平成元年身延山久遠寺に依り設立しました

株式会社せいしん

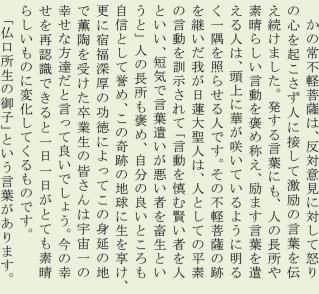
御守・線香・経本・写経・数珠・腕輪 各種取り揃えております。 ※久遠寺に参詣の折は、 せいしん駐車場をご利用下さい。

〒409-2524

山梨県南巨摩郡身延町身延 4252 TEL (0556) 62-3033 FAX (0556) 62-1033 ホームページ https://seisin.kuonji.jp/ メールアドレス seisin@carrot.ocn.ne.jp



▼望月海慧学長式辞



た者という意味です。 ら説かれた尊い教えに依って生まれ変わ さまの口から生まれた者、即ち仏さまの 口所生の御子」という言葉がありま П

つか仏

になり、 ていただければと切に願いまし 今、この瞬間からも日々が にあたり保護者会を代表し 輝かしい人生の一歩を力強く踏みだ 素晴 ての祝辞 って、 5 し 本日の 11 t \mathcal{O}

心か



の皆さまをお迎えし、学位授与式を挙行感じるこの佳き日に、保護者の皆さま、 でとうございます。 卒業生 すことは、卒業生だけでなく、 からお祝い申し上げます。 く支えてくださった保護者の皆さまに ましても大いなる喜びであります。 身延山の桜の蕾も膨らみ始 さて、卒業生の皆さまは、日蓮聖人が晩 一の皆さま、 また、 本 白 はご卒業、 長い め、 間皆さまを暖 教職! 春 \mathcal{O} 誠 福員に取 ・行でき ・不変 12 お 8

池内円海 身延山大学保護者会元会長 身延山大学保護者会顧問

> 〒299-5226 千葉県勝浦市串浜 753 TEL 0470-73-1524

寂

池上要靖 身延山久遠寺庶務部長 身延山大学専務理事

〒409-2524

山梨県南巨摩郡身延町身延 3582 TEL 0556-62-0149

語ることもできるでしょう。 『法華経』の構成を皆さまの

皆さまど

がな

選ば

れたことは、さまざまな

三つの専攻に別れてそれぞれの学問

7結果であったのです。入学されてからと思いますが、本学を選ばれたこと

が、本学を

れ理

由

が あ

るとされております。 がら、いずれの皆さまも、この身延山大学した方もおられることと思います。しかしれた方ばかりではなく、それを知らずに入は、その聖地であることを知った上で入学は、その聖地であることを知った上で入学れ年を過ごされたこの地にある身延山大 "法華経"と出会ってい このような邂逅は、『法華経』の ごを説 て語られております。今生に おいて、釈尊の「過去世とのつながり」 て『法華経』に出会ったことになりま いく理由 は、 すでに過去世において ることに 起 おいて『法 因 「化城喩 してい

卒

誰

ŧ

とを忘れており、後にそのことを気付かされ例え話により、『法華経』を説かれていたこ 例え話により、『法華経』を説かれていたこ再会した際にそのことを知らされたという縫い付けていたことに気づかずにおり、後に が 語 れ 量品」と「如来神力品」にたことを説いております。 喩」として、 ま に自覚させることで、 られております。友人が宝石を衣の裏に た、「五 た声聞たちがその邂逅を思 繋げております。 一百弟子受記品」 過去の『法華経 来神力品」に お 経 さら では 典 V 典の弘通の動いてこの宿気 との に、「如来寿 い出 _ 出 衣 すこと 裏 動縁 い繋

> うな社・ 仏教のは に出ま で学んだ智慧を広 いうことを自覚してください。またその くことが皆さまに課され おける私の使命でもあります。 たことと思 役割を皆さまに委嘱すること く社会に た使 広 8 命 活 で 延 あ用 Ш がよるし大教

7

となります。その社会的役割を担って、うな社会が構築されることになります。この平の社会が構築されることになります。この平とりがその教えを実践することにより、平和とのがその教えを実践することにより、平和 だくことを願っております。 とを忘れずに、それぞれの社会でご活 が安心して過ごせる社会を構築す の教えは、我々が獲得した智慧 に るこ ょ ŋ

いりますので、皆さまっとこっと思っていただけるような大学を築い た霊鷲山と並ぶ聖地にあります。 **に躍することを祈念して、** 最後に、身延山大学は、『法 本日は 皆さまも社会や宗門で大い おめでとうござい 私から 華 の祝 が 業 生 説 八いにま のか り皆れ



木村中 身延山大学部長

〒146-0082 東京都大田区池上1-19-25 TEL 03-3751-6728

望月海慧 身延山大学長

〒409-2524 山梨県南巨摩郡身延町身延 3600 TEL 0556-62-0050

 $\bar{\mathcal{O}}$

仏

てし

延 身

延山

出の歴史 大学は、

れることが

出

来る恵まれた環境

恵まれた環境の中に 史・文化・芸術に実際 、身延山久遠寺に隣培

に際接

記念品(クオカード)本年度の卒業式より、

生代表の藤森孝正さんに手渡されました。

を小林賢光会長から卒

保護者会から卒業生

史・文化

後藤

第二十七期生代 表 瑠 夏

ただきます。 生 旅 を 立 代 ち 表いたしまして謝辞を述べさせ 0 節目となるこの場をお借り 卒

瞬く間に過ぎてい始まった大学生活 今から四 く間 \mathcal{O} 不 今から四年がから四年が のことのように覚え不安を胸にキャン は に過ぎていった四年間でし 仏教芸術を専攻し、 教に関する芸術・美術を学んでき芸術を専攻し、仏教彫刻や仏教絵 前。 活は、 が ンパスに訪れ 身 ええて の花びらが舞 延 素晴ら 山 います。 たことを昨 その日か 介う中 た 5

学で学ぶことの喜びを実感する事 また、私 知 常に貴重な時 自 \mathcal{O} を興味 0 匹 間 年 4 \mathcal{O} 間で学芸員 重 あ ねる る 分 この身が出れ が 出 延 来 科を種 来山た的 ま大のに

教員免許状、社

会教育士など多くの資格

得しました。主専攻に加

えて、

資格取!

得

限

目

五

限

目 科

を履修すると、

総本山身延山久遠寺御用 日蓮宗祈祷大荒行堂御用

浪花屋珠数仏具店 深沢永寿 店主

御数珠調製・仏像・仏具・軸物・印伝 各種記念品等その他のご注文 お気軽にご用命下さい。

〒409-2524 山梨県南巨摩郡身延町上町 TEL 0556-62-0200 FAX 0556-62-0771

丸茂龍正 身延山学園法人事務局長

〒424-0203 静岡県静岡市清水区興津東町 776 TEL 054-369-0653

張ることができました。 ることで、目に見える形で結果があらわれ頑し、大学で勉強できることに感謝し、努力す 義が入り、 つらい時 もありました。 Ĺ カン

切な思い出です。 ました。友人や先生方と過ごした時間は、大 日 は失敗も経験して成長することができ 々の講義で知識を得て、実習に 人と関わることの楽しさ、新たな発見、 臨むこと

た素晴らしい四年間だったと思います。 したが、学ぶことの楽しさを知ることができ 楽し いことも、悩むこともたくさんあ ŋ ŧ

なりません。辛いことも、 謝の心を忘れずに、生きていきたいと思いま経験を活かし、自分の行動に責任を持ち、感 多々あるでしょう。ですが、身延山大学での 分の力で、自分の人生を歩んでいかなければ いま 謝の心を忘れずに、生きていきたいと思い 大学生活を終え、今私達はこの場に立って す。これから私達は、社会人となり、 葛藤することも、 自

のは、先生方、職員の皆様、地域住民 りがこのよき日を迎えることができました そして家族や友人の支えのお陰に他なりま 拙い言葉では、 後になりますが、 卒業生代表の謝辞とさせていただきま 言葉ではありましたが、これをもちま 心より御礼を申し上 本日、 卒業生 の皆様、 人 一げます。 ハひと

せ

りがとうございました。

学 理 総 事長 裁 賞賞 賞 後藤 新 春香

齋藤 阿 部 創司 瑠夏

長神宮静山野奈城岡県県県

学長奨励賞

藤森

孝正

▼学生交流会「バーベキュー大会」



前自治会長 依田敦郎

会主催和 !のバーベキューを「道の駅しもべ」六年十月二十七日、身延山大学自治

下部ホテルでの謝恩会



昨ウイ で 開 ルス流行により開催を自 上することが出来ました。 粛しており、 型コロ

すが 今年 \mathcal{O} 今年度の学生交流会は、昨年に行 る姿も多く見受けられまし 参加し、普段交流のない学生同士た。身延山大学に在学する学生や 年度より再開二 反省 - 度の参加 点に気を付けながら準 交流のない学生同士が交流学に在学する学生や教職員 回目となりました。 備 をつ 行た内

りました。 \mathcal{O} 反省点とし ての 課 題 は 大 、きく

> たことです。 カコ ŋ 2 自 食事の時間を充分に確保で は、炭に火が付くまで一 で時間 な以 か上

つ掛

では、 いました。 学生や教職員の方に火付け、 間を三十分延長し、キャンプ 間を三十分延長し、キャンプの経一つ目の課題点にとしては、卓では、学生交流が行われなかった二つ目は、座っている卓以外の を行っ で行ってもらい経験のある、卓の使用時でことです。

そばを作りました。 ーベキュー卓それぞれの卓で違他の卓に行きたくなるように四 二つ目の課題点としては、 卓それぞれの卓で違う 学生が 0 主 あ体 焼 る 的

バに





作中田 そば」「秋田の横手やきそば」「 華風やきそば」の四つをそれぞれの卓で 「やきそば」に加え「元中華料理人が作る ば」「秋田の横手やきそば」「群馬県の太日本の三大焼きそば「静岡の富士宮やき りました。

ぶえて文化交流として、中国からの留学生のの学生が焼きそば作りを担当しました。きそばを食べて生まれ育った富士宮出「富士宮やきそば」は、幼少より富士宮 中 .風焼きそばを作るなど、学生交流 中国からの留学生

図が加身や

果的 に以前よりスム] ズに食事を行

とや焼きそばの種 われる様子も見受けられました。 、焼きそばの種類等を検討する必課題としては、炭が少なく火が弱 \mathcal{O}

しいおか自快べの三 いただき、 参た。 6 由 晴 丰 選 開 あ 門の下、 定 にお肉を焼いたりしている様子に、心 の下、友達同士で会話を楽しんだり、ユー開催日には特に大きな問題なく、 ると思いました。 人分の食材の計算、バーベキュー会場 前には、 など、 とし ました。 無事に開催することができま 紆余曲折がありました。バー て多くの先輩方にもお手伝 役員のスケジュー 自治会員だけでなく、

ることができない先生方や日蓮学専攻やしかったです。 私自身、普段なかなか関わ 楽しかった」等々、 を 文学・芸術専攻の学生と、交流 くことができて自治会長としてとても嬉 バ 生 ーベキューとビンゴ大会のどちらも」と関わることができて楽しかった。」、 たりすることができて、 加学生から「また来年も てほしい。」、「普段交流のない専攻 しい意見をいただ とても ーベ したり歓 楽 L か談

・を開催で たです。 があったからこそのものであ (力もありますが、参加され)催できたのは、自治会員の 度に引き続き今年度 参加された先生方、 ŧ 学生の皆様 1 た皆様 い 皆様の と と 思 人ひ ベキ ユ

第55号

と思います。 て、 そして、 更に学内交流を活発化していきたいして、このような自治会活動を基盤と刀に、心より感謝申し上げます。

要い

くお願 これからも身延山 たします。 大学自治会をよろし



寄贈戴き、

ら御 令和六年度も主要寄贈図書を多数の 篤く御礼申し上げます。 方

カン

資料ご恵贈の お

集しております。 育関連資 史・誌等や、 市 延山大学附属図書館 町村史・誌、資料集等および各寺院 料並びに 新たに絵本・ 社会福祉 では、 童話 関連資料 集等の 全国 都 - 等を 幼 道 を収保 \mathcal{O} 府 寺県

付けておりますので、先ずは左記問資料を御恵贈いただけます方は 連絡ください。ご協力お願い V たします。 常時 合せ先に 受

山学講座

を開催し 身延山大学附属図書館 てい ます。 では、 身 延 山

せ 望される方は、 十回の講座を予定し 左記図書 書館まり ています。 で、 お 問 参 加 合を希

身延山大学附 属図 書 館

話

F AX(兼 用 〇五五六 直 通 担当係 九五〇 美



講座